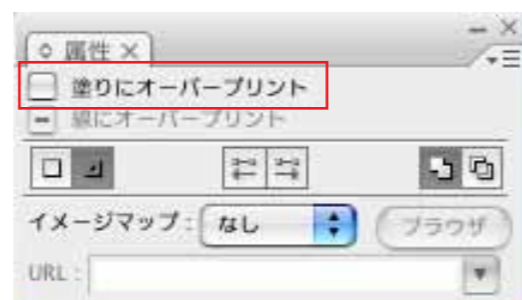
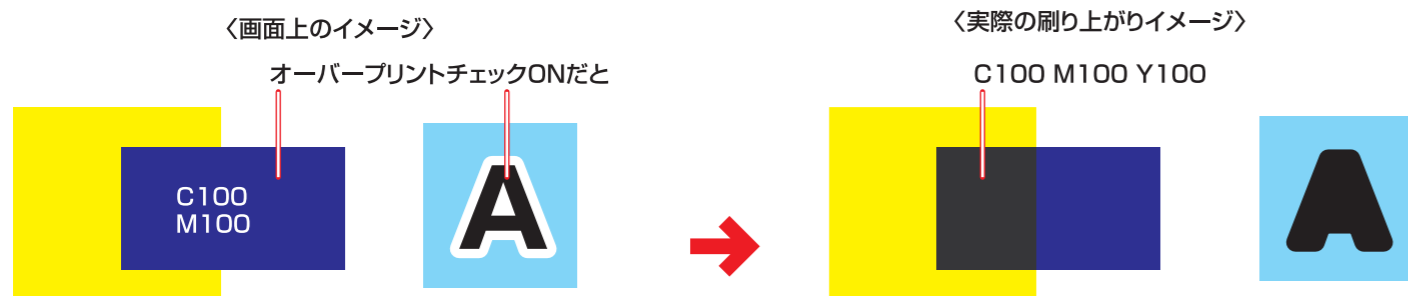


【塗りのオーバープリント】

「塗りにオーバープリント」にチェックが入っていると、刷り上がりの際、背面のオブジェクトに対して、ノセ処理が自動でされます。
 ウィンドウ→属性 にて「塗りにオーバープリント」のチェックを必ずはずしておいて下さい。



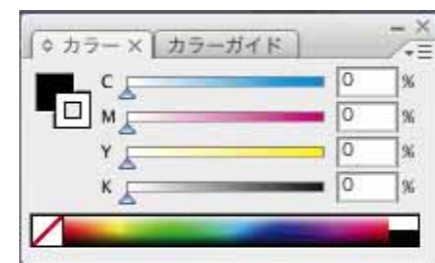
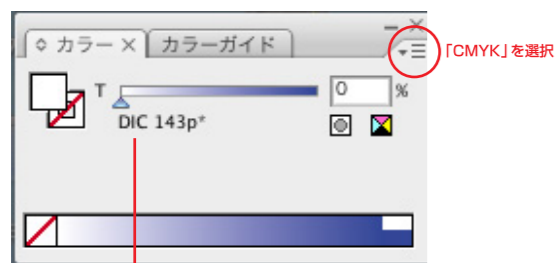
【特色と透明効果】



Illustrator上にて、特色にて透明効果を使用した際、印刷すると透明効果が適用されなくなります。

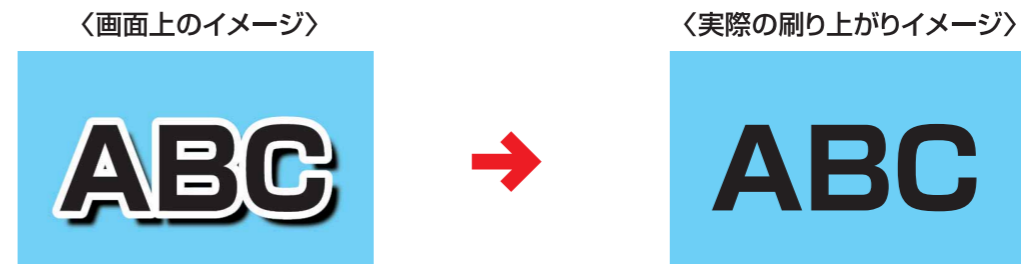
ウィンドウ→カラー にて特色をCMYKにして下さい。

(または、Photoshop上にて加工ののち、一枚のepsデータにて保存してください)



DICOLOR
 PANTONE
 FOCOLTONE
 TOYO
 TRUMATCH など

【複合パスでの白フチ作成】



「複合パス」にて文字のフチを制作された場合、グループ化解除または複合パス解除をすると白フチ、ドロップシャドウが外れてしまいます。
 (印刷行程において、DPCにてaiデータのグループ化解除をさせていただく場合がございます)

複合パスでの文字フチ作成はなるべくお控え下さい。

【スミ100%のオブジェクト】

出力装置にて演算時にK100%に対して自動ノセ処理がかかります。



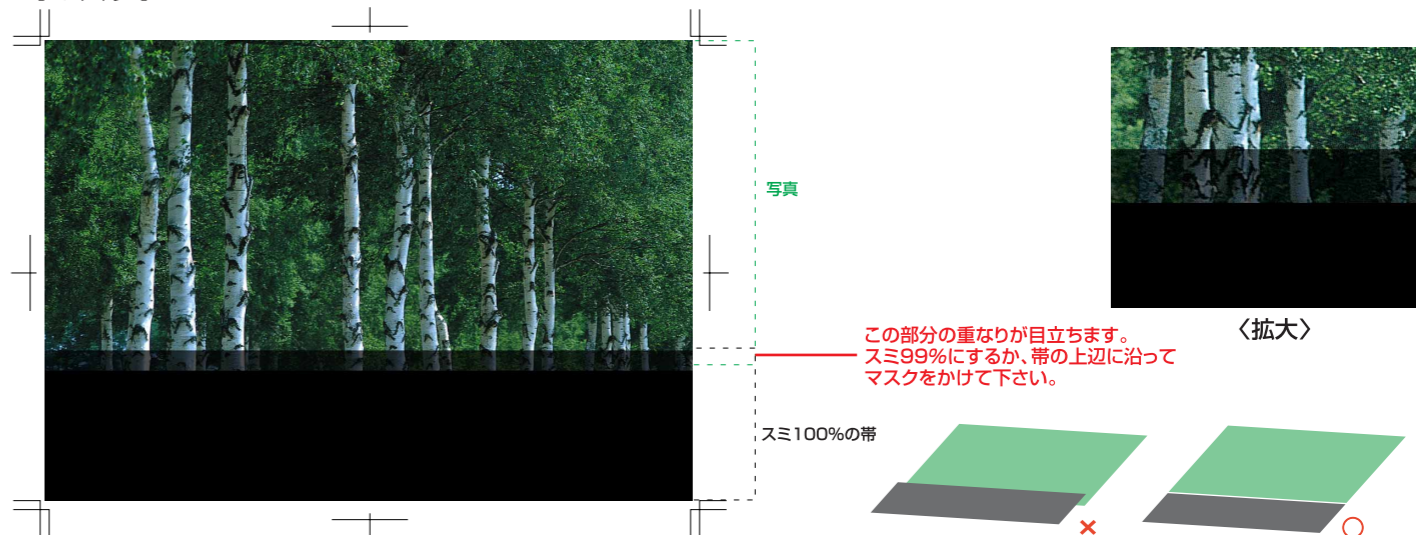
スミ100%の文字やオブジェクトを配置すると、下の写真等が透けて見えます。
 回避するには塗りの色をK99%にして下さい。(大きく目立つ部分のみで結構です。小さい文字等はスミ100%のままでOKです)

【文字】

80Q (50pt) 以上の文字は特に目立ちます。



【マスク】



この部分の重なりが目立ちます。
 スミ99%にするか、帯の上辺に沿ってマスクをかけて下さい。

スミ100%の帯

